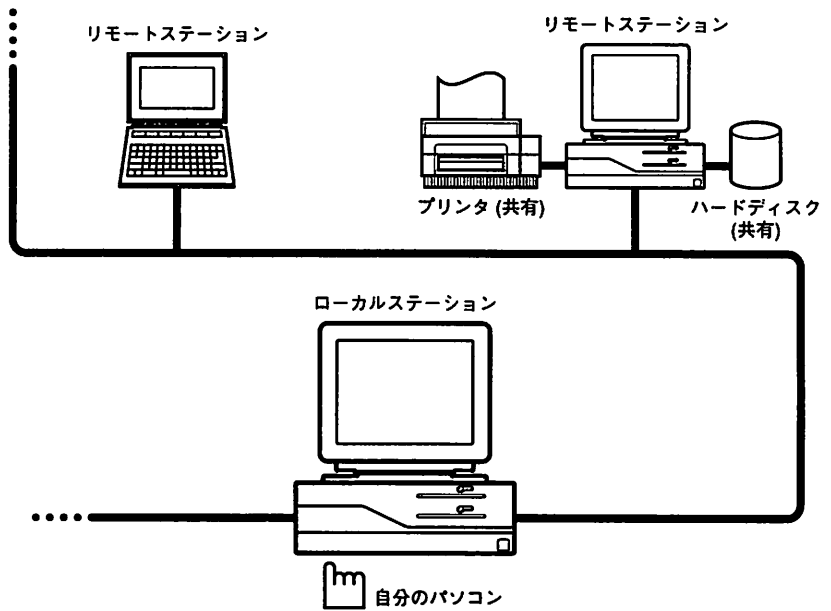


# WBCとは

WBCは、ネットワークを手軽に構築・運用するためのパッケージです。

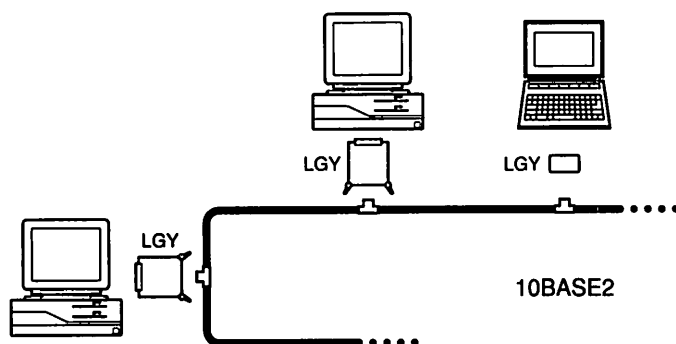
ネットワークとは、パソコンとパソコンの間でコミュニケーションをとることです。ネットワークにつながっている各パソコンを、ステーションと呼びます。ネットワークでは、「自分の」をローカル、「ネットワーク上の他の」をリモートと呼びます。つまり、ローカルステーションは、自分が利用しているパソコンを指します。リモートステーションは、ネットワークにつながっている他のパソコンを指します。

WBCには、ネットワーク環境に必要なハードウェア（LANボードおよびケーブル等）やソフトウェア（WEB）が入っています。



## LANボード・LGYシリーズとは

メルコ社が開発した、ステーションとステーションをつなぐLANインターフェースの為にハードウェアです。ネットワークインターフェースの仕様は、IEEE802.3準拠（イーサネット）で10BASE2と10BASE-Tがあります。

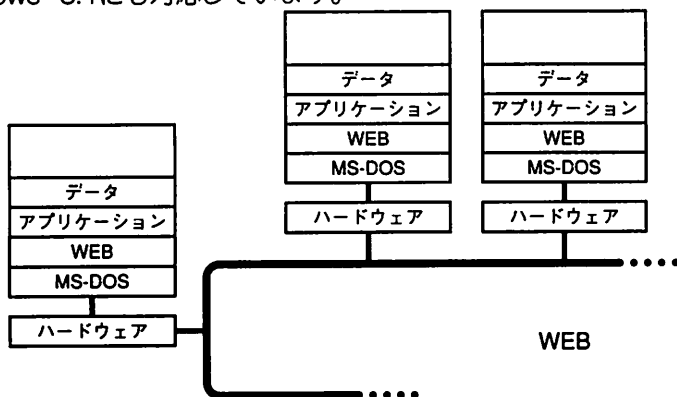


## ネットワークOS・WEBとは

LANボードをつないだステーション間で、通信を行うソフトウェアです。WEBは、米国のWEBCORP社が開発し、米国で高い評価を受けているネットワークOSです。

NEC社PC-9800シリーズ（CPUi386™以上）、EPSON社PC-386/486シリーズ及びノートパソコン（98NOTE CPUi386™以上、EPSON AE/AR/AS）のMS-DOS Ver.3～5上で動作します（WBC-98）。また、IBM-PC互換機のDOS/V対応版も用意されています（別売・WBC-V）。

Windows™3.1にも対応しています。



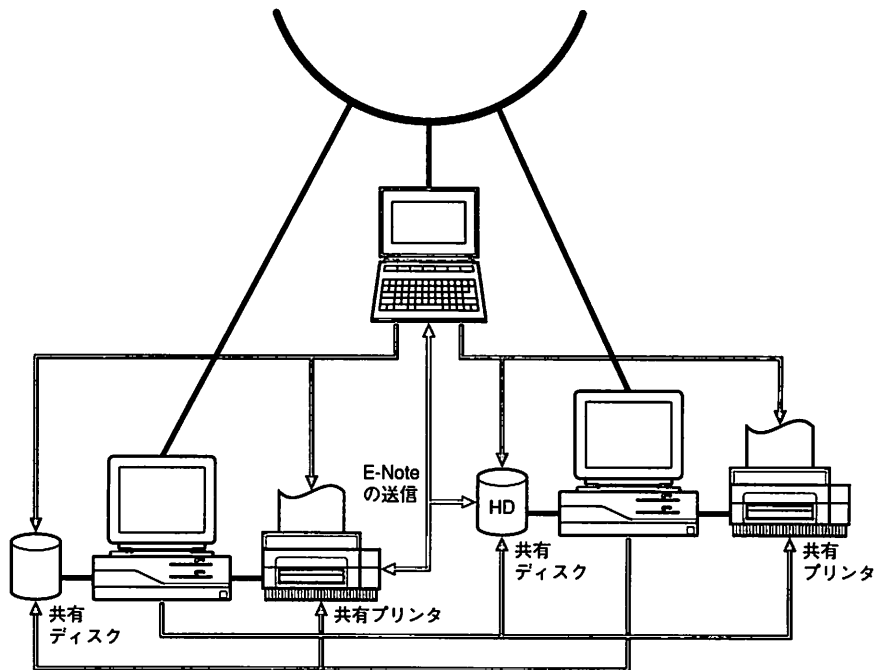
# WEBの特長と機能

## サーバ専用機のいない、ピア・ツー・ピア方式

WEBは各々のステーションが対等な、ピア・ツー・ピア方式を採用しています。ピア・ツー・ピア方式では、あるローカルステーションが自分の資源をリモートステーションに提供できると同時に、リモートステーションの資源を利用できます。従来のネットワークのように、ステーション1台がサーバ機として専有されません。

## ネットワーク上で資源を相互に共有

あるステーションからリモートステーションのディスクドライブにアクセスできます。また、あるステーションからリモートステーションのプリンタに印刷できます。ステーションに接続されたドライブやプリンタを総称して、資源と呼びます。ピア・ツー・ピア方式だから、複数のステーション間で相互に資源を共有できます。

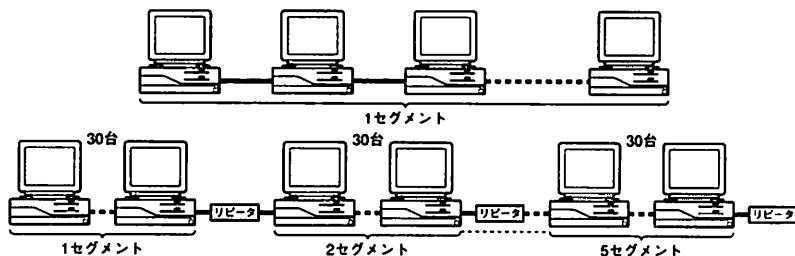


## ネットワークの拡張

LANボードLGYは、標準規格IEEE802.3（イーサネット）に準じて製作されています。IEEE802.3の仕様は、ステーションの接続台数を以下のとおり定めています。

### 10BASE2

1セグメントに30台までステーションを接続できます。1セグメントとはターミネータからターミネータまでのネットワークをさします。1セグメントの距離は185mまでです。T型コネクタと専用ケーブルを用いてください。リピータ（別売）を用いれば、最大5セグメントまで延長できます。



### 10BASE-T

10BASE-Tの規格に従って、1024台までステーションを接続できます。非シールドツイストペアケーブル（WBC-98-T/NTに付属）とハブ（集線装置）を用いてください。ハブ間は10BASE2または10BASE-Tケーブルで接続できます。パソコンからハブの間の距離は100mまでです。

